

年	トピックス	各年活動依頼先ベスト3	活動件数
2005	個人54人、団体140人	9月から登録開始	0
2006	登録者名簿発行開始	サークル4・放課後子ども2 公民館、NPO、自治会1	9
2009	登録者数1000人を超える	学習センター14・公民館11 いきいき12	79
2010	依頼件数100件に迫る	いきいき13・サークル12 行政施設10	82
2011	ボランティアフェア開催	公民館19・子どもルーム10 サークル10・自治会等10	119
2012	ボランティアタイム発行	サークル19・放課後子ども18 子どもルーム17	144
2014	依頼件数200件に迫る	放課後子ども29・子どもルーム26 自治会等22	198

「定年後の生活をエンジョイするために、現役時代に培った技術や経験を活かして社会に貢献をと思い、パソコンボランティアを始めました。近所の公民館でパソコン講座のサポートをし、講座終了後もサポート仲間と講座を続けました。その後、千葉市主催のボランティア講座を受ける機会があり、ドリームリーダーの一員となつて、ボランティア講師をしています。応募した自主企画講座も採用されて、市民の方々にパソコンの楽しさを伝えていきます」

青砥さんは10年ほど前に、趣味を活かし「デジタル・アート」研究会を発足、約40名の会員の皆様にパソコンアートの楽しさを伝えていきます。

◎パソコンの先生に聞きました
生涯学習ボランティアセンターは、2005年のスタートから一緒に歩んできたボランティアの皆さんに支えられて10年目です。節目の号としてまずは10年間パソコン指導のボランティアを続けてくださっている青砥孝夫さん（K05-022）にお話を伺いました。

ボランティアセンターと共に10年

【編集・発行】
ちば生涯学習
ボランティアセンター



昨年のリアルボランティアカフェ

ボランティアフェア 2015 「ボランティア先生をさがせ！」プレ情報

11月17日(火)～23日(月)の1週間、今年も登録ボランティアを公共施設等に紹介するイベントを開催します。
活動を紹介したい方、イベントスタッフとしてお手伝いいただける方を募集します。

♪活動紹介

公民館講座におすすめ！
1時間で講座紹介 6件
活動紹介展示 20件
体験コーナー 8件

♪スタッフ

各コーナー受付 6人
体験コーナースタッフ 10人
カフェマスター 若干名
前日準備 2人

ボランティアはじめてたい！！
開催しました



今号のイラストはK07-010 野田さんの「ゴム版画」による作品です。

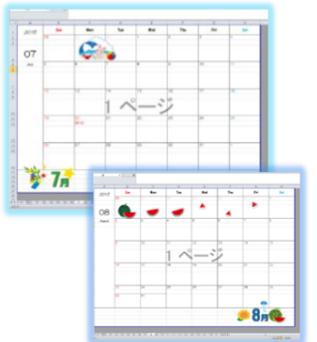


登録ボランティア対象 スキルアップ講座のご案内

PCの研修 Excelを活用して来年度の手帳を作ろう！

日時:10月18日(日)・25日(日) 13:30～16:30
会場:生涯学習センター 地下1階 PC学習室
定員:20人
講師:K11-010 田中さん K14-045 小倉さん 他

普段からPCは使っているけれど、Excelは少ししか使ったことが無いという皆さん。来年のオリジナル手帳を作りながら中級程度のExcelを学習をしましょう！

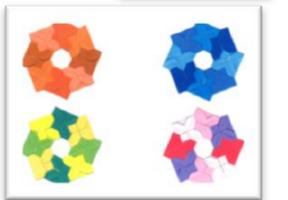


あっと驚く 折り鶴アート・フレーベルのもよう折りリリース など

日時:11月1日(日) 13:30～16:00
会場:生涯学習センター 3階大研修室
定員:30人
講師:K14-022 小林さん K13-009 田波さん 他



たかが折り紙、されど折り紙、折り紙を使った奥の深い体験を紹介します。こんなこともできるのか！と驚いていただけること間違いなしです。



◎ボランティアの秘訣

「ボランティアを長く続けるには、趣味や経験を活かして、無理をせず気楽に、自分で楽しむことです」と青砥さん。皆様に青砥さんから優秀賞賞の川柳をお贈りします。



都賀中学校で生徒に指導



轟公民館で成人向けパソコン学習

ボランティアはじめてたい！！

ボランティアはじめてたい！！

クラシックギターのやさしい音色をお届けしています

ギターサークル・アルモニコス (G05-009)

女性ばかり14人のサークル。クラシックギターの合奏で出前コンサートをしています。レパートリーはアニメソング、ラテン、ジャズ、歌謡曲等々、幅広く演奏。公民館、自治会のイベント、子どもルーム、高齢者施設からの演奏依頼が多いです。ギターだけではなく、バイオリン、ウクレレ、トーンチャイム、フラダンスなども交えて楽しいコンサートになるように心がけています。イベントに合ったプログラムを作り、練習するのは勉強になりますし、私達にも大きな喜びです。演奏人数、曲目等のご要望に合わせます。どうぞ、お早めにご依頼ください。

●今後の予定: 8/29(土) 公民館コンサート (千葉市千城台公民館) 10/1(土) 秋のギターフェスティバル (千葉市生涯学習センターホール)



編集後記



(T)

ボランティアセンターは本年9月に創設10周年を迎えます。その特別企画として本誌初の試みですが座談会形式で4名の方に登場いただきました。皆さま活発にさまざまなお話を披露されましたが、ボランティアを長く続けるコツは「楽しみと人との触れ合いにあり」と学んだ次第です。

■お問い合わせ先: ちば生涯学習ボランティアセンター■

TEL:043-207-5815 FAX:043-207-5817

ボランティアタイム(カラー版)は以下のHPで見られます。
http://www.chiba-gakushu.jp/advice/advice_03.html

活動の“コツ”お教えします!!

登録以来、切れ目なく活動されている4人の方に集まっていただき、どのようにアプローチしながら長く続いているのか座談会形式でお話を伺いました。(文中敬称略)

ボランティアを始めたきっかけは？

増田：車の色は色々あるのにタイヤの色は黒一色、なぜ？
この疑問が雑学の始まりでした。日々疑問を感じ調べて得た知識で定年後、人様の役に立ちたいと思いました。

大串：退職後は今までとは違う生き方をしたいと考えていたところに筑波山神社でガマの油口上士のパフォーマンスに出会い、新しい生きがいを発見できたと直感した。すぐに講習会に参加し修行の道に入りました。
大道芸を色々な条件の場所で紹介したいと思いました。



加藤：大学時代ジャグリングサークルでバルーンアートを知り、社会人になってからもイベントなどでバルーンを配ったりしていましたが、作り方を教える機会に出会いました。2014「ボランティアを始めたい」講座を受講し、即登録しました。

高橋：起き上がれないほどの首の寝違えが辛く、たまたま受けたカイロプラクティックで自分の体の状態がわかり楽になりました。同じように痛みを感じている方に、体操で楽になる方法を伝えたいです。

活動していて印象に残ったことは？

増田：「雑学で脳内活性セミナー」という講座で、射るような真剣な眼差しで聞いていた男性が終了後に「先生の話された内容の半分も知らないことばかりでした。これから何年生きられるかわかりませんが勉強していきます」との言葉に感激しました。

加藤：プードルやウサギなど動物を作ることが多いのですが、初めてでも15分ぐらいで作れるようになります。毎回、自分で作ったものを大事に嬉しそうに持って帰っている姿を見ると私も嬉しくなります。



高橋：まだボランティア活動を始めたばかりで、トークも指導もおぼつかなかった頃に受講してくれた、腰が痛くて足のしびれがあった方が、一生懸命骨盤運動の体操をしてくれました。何回か回数を重ねた後、腰がずいぶん楽になり足のしびれもなくなったと感謝された時は、とても嬉しかったです。

活動を始めるコツ・長く続ける秘訣はありますか？

高橋：まず人に興味をもち、とにかく一回やってみる。一人で不安な場合は1時間や2時間の枠を何人かの複数でやってみたらどうか。センターにそういう相談をしてもいいと思う。皆さんからの反応が必ずあるので自信がきます。

増田：登録をしているのだからそのうちに…という待ちの姿勢ではなく、「やらせてもらえませんか」と自分から売り込みにいく。老人ホームやデイケア施設などは何かやって欲しいという需要が多く、受け入れてもらえる可能性が高い。自分は何ができるかを明確にして一度電話を試みてください。一回やらせてもらえれば次に繋がります。私は時間がたくさんあるので、暇つぶしに行くぐらいの気持ちで気楽に気負わずにやっています。でも皆さんから元気をもらえるなど得るものは必ずあります。私も一期一会の気持ちで自分の知っている知識をいっぱい伝えて皆さんに持って帰って欲しいと思っています。

大串：人間は社会的な動物なので一人では人としての健康は守れない。健康に暮らすためには、今日行く(教育)・今日用がある(教養)が必要です。たとえば、今日一日〇人に会うなど小さな目標を定めて達成していく積み重ねが大切なんだと思います。そういう意味ではボランティア活動は健康保持に繋がるのではないのでしょうか。



加藤：人前で何かをやるというのは緊張したり、荷が重く感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、でもそこはボランティアなんだからという気軽さも必要だと思います。私も依頼のあった活動は真面目に一生懸命取り組んでいますが、自分も楽しみながらやっています。自分が楽しめる範囲でやることも続けるコツだと思います。今回、皆さんのお話を伺って私も活動範囲を広げるために高齢者施設などに電話をして自ら売り込もうと思いました(笑) 情報交換ができてよかったです。

♪取材を終えて♪

集まっていた4人の方は、実に楽しくご自分のできる範囲でボランティア活動をしています。そして、人の役に立てることに大きな喜びを感じていらっしゃいます。無理することなく楽しみ、かつ向上心を刺激しながら取り組む姿に、こちらも前向きな気持ちにさせられます。ご意見の中に、登録者名簿の冊子を公的機関だけでなく、もっと広範囲に置くことはできないか？広報のあり方を考えては？というのがありました。今後の課題です。

雑学・川柳 (K05-030) 増田 信則さん



骨盤体操 (K08-010) 高橋 恵美さん

